



## TEAM 北小

～地域とともに  
にある学校～

時津北小は、コミュニティ・スクールです。

時津町立時津北小学校  
学校だより 第3号  
令和5年5月17日  
校長 白浜 弘康

いよいよ日曜日は、体育祭です。一昨年は保護者・来賓を入れない体育祭、昨年は保護者の人数制限有の体育祭でしたが、今年は制限がありません。多くの方に参観いただけます。その分、保護者の皆様におかれましては、①ご自分のお子さんが出場しない種目については、場所を譲り合っの応援、②来賓テントや敬老テントの中には入らない応援など、これまで通り、ご協力をよろしくお願いいたします。マナーのいい北小の保護者であってほしいとPTAでもお願いをしました。ご協力いただき、皆がいい気持ちで体育祭を終えられるようご協力をお願いします。

### 北クラブの有志の方々による樹木伐採



運動場の白熊像横の樹木が枯れていました。北クラブの有志の方々が、休みの日に木の様子を見に来て、樹木伐採をしてくださいました。

伐採をしながらお話を聞いたところ、枯れていた木は、有志の方々が小学生の時に植えたものだったことでした。自分たちが植えた木で子どもたちを怪我させてはいけないと樹木伐採の運びとなりました。合わせて、センダン広場のクスノキと健康の森のクスノキは、学校から見える山から掘り出して運んだというお話も聞きました。そこには、時津町の木であるクスノキが

学校にないというのはよくないという、その当時の方々の思いが込められていました。ちなみに、白熊像も有志の方が子どもの時に、骨組みからコンクリート打ちまで当時の担任の先生と一緒に作ったことでした。



体育祭で来校された際に、卒業生の思いに触れながらご覧ください。

### 地域協働本部総会

コミュニティ・スクールである北小で、地域と学校をつなぐ役割を果たすのが、地域協働本部です。地域協働本部総会として、子どもたちの教育活動でお世話になる、交友会、読み聞かせ隊等の方々をお招きし、打合せを行いました。



協議の中で、子供達への読み聞かせの日や内容、3年生の芋差しや収穫までの日程など、様々なことが決まっていきました。芋の苗も、たくさん用意して下さるとのこと。皆さんの協力の心に改めて感謝した会となりました。

## 通学合宿（日並地区地域行事）

日並地区の高学年児童向けに健全育成協議会から「通学合宿」の案内が配られました。

「恩送り」という言葉をご存じでしょうか。江戸時代は、恩返しと同じ意味でつかわれていたようですが、ある作家さんが、自分が受けた恩をほかの人に贈り、「恩」が周り周っていく。という意味に使い、広がっています。以前カナリーホールで元健全育成協の役員の方が発表をされました。「自分の子どもが通学合宿といういい経験をさせてもらった。だから自分は『恩送り』として通学合宿の協力をしている」というものでした。

日並地区の皆さん地域の思いが詰まった「通学合宿」参加を検討してみてください。

## 時津北小の図書館教育

昨年度の学校評価で、「教職員は、読書指導を行い、その成果として、子どもの読書の習慣が定着してきている。」の項目が他の項目と比較して低くなっていました。

そこで、これから何回かに分けて時津北小の図書館教育について紹介します。

時津町では、各学校に「学校司書」という図書館の専門家を配置し、図書館教育の充実につなげています。

右の写真上側は、本校の学校司書が図書館での本の借り方、返し方、本の扱い方等を、絵を用いて子どもたちと共通理解を図っているところです。



下の写真は、本が並んでいる順番である「日本十進分類法」を小学生向けに表したものです。



年度始めにこのような共通理解を図ることで、子どもたちは、本の貸し借り、返却がスムーズにできるようになります。

また、学校司書は、子どもたちが本を借りる時に、その子に合わせた本を紹介するなど、本の世界が広がるように支援しています。そして、本の借り換えだけでなく、担任からの要請に応じて、授業で必要な本の相談や紹介、取り寄せをしています。

保護者の方々のお話では、ソーシャルメディアを見て過ごす子どもたちがいると聞きます。北小の子どもたちには、活字や質の高い絵本などをたくさん読んでほしいと私は願っています。

町内でインフルエンザが多くなっているようです。手洗い、うがい等、対策をお願いします。

### 〈学校教育目標〉

家庭、地域とともにめざす児童の姿「思いやり しっかり考え きたえる子」の具現化を通して、「社会を生き抜く力」を身につけた児童を育成する。

### 〈めざす児童の姿〉

思いやり しっかり考え きたえる子

### 〈時津北小コミュニティ・スクールのテーマ〉

夢や志をいだき、ふるさとを愛し、ふるさとを拓く人づくり

### 〈学校・地域・家庭共通の目標〉

あいさつは、自ら、家から地域から、心つながる日並・子々川